

指定管理者モニタリング チェック表

令和4年度

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
1.運営	1	病院の利用者数の状況はどうか(入院収入、入院延患者数、入院診療単価など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>4年度の入院収入は約40億円で、3年度の約20.8億円からほぼ倍増するとともに、市立川西病院における1日当たりの入院患者数は98.1人と、3年度の120.8人を下回ったが、市立総合医療センターでは305.3人と大きく向上させた形となった。</p> <p>特にコロナ患者受け入れについて、兵庫県より重点医療機関の指定を受け、2病棟(85床)をコロナ確保病床として運用した。</p> <p>入院診療単価は、3年度の4万7,361円から市立総合医療センターでは約4,000円増加し、5万1,522円となった。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>さまざまな機会を捉え、診療科目の充実を図るとともに、提供する医療サービスを向上し、診療報酬加算の一つである急性期充実体制加算が得られるよう組織力を高め、入院診療の充実を図る。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>想定の日あたり患者数320人、単価5万3,000円には及ばないが、これは2病棟を新型コロナウイルス感染症罹患患者(以下コロナ患者という)専用としていたため、やむを得ない。</p> <p>コロナ患者の受け入れを積極的に行い、令和4年度3月末で累計1,750人の陽性患者を受け入れたことは評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>コロナ病床を一般病床に変更した後は、令和5年度の想定通り1日あたり患者数367.5人、単価5万5,680円を目指すこと。</p>
	2	病院の利用者数の状況はどうか(外来収入、外来延患者数、外来診療単価など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>4年度の外來収入は約14.7億円で、3年度の約9.9億円から増収となるとともに、市立川西病院における1日当たりの外來患者数は295.9人と、3年度の326.7人を下回ったが、市立総合医療センターでは557.3人と大きく向上させた形となった。</p> <p>特に有熱患者対応として、平日時間内は発熱外来を設置し、休日・時間外についても有熱患者の受け入れを行った。</p> <p>外來診療単価は、3年度の1万2,526円から市立総合医療センターでは1,240円増加し、1万3,766円となった。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>新任医師の紹介などをはじめとした市立総合医療センターの広報紙を活用することなどにより、地域医療機関との連携をさらに強化し、紹介率と逆紹介率の向上を進め、市民に望まれる外來診療を展開する。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>有熱患者の対応を行うなど、公立病院としての役割を懸命に果たしている。</p> <p>想定の日あたり患者数900人には及ばないが、かかりつけ医の推奨など設定した当時の環境と大きく乖離しているため、現在の外來患者数は妥当だと評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>引き続き外來単価の目標値である1万3,500円を維持すること。</p>
	3	積極的な救急医療の提供ができていないか(救急車搬送患者受入数など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市立川西病院では、5ヶ月間で2,131件の救急及び夜間休日外來の患者を受け入れるとともに、市立総合医療センターとなってからは、7ヶ月間で5,478件を受入れており、3年度の4,734件と比較すると2,875件、60.7%の増加となった。</p> <p>② 兵庫医大より救急科常勤医師2名に加え、午前(週1回 ※7月～)、午後(週4回)の救急科応援医師の派遣を受けている。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>4年度後半、市立総合医療センターでは、コロナ禍の影響などもあり、救急搬送要請に対する不応需件数が一時増加したことから、5年度では不応需率の低下が図れるよう対策を講じていく。</p> <p>救急隊との連絡が迅速に図れるよう、救急医ホットライン(医師専用直通回線)の円滑な活用に努めていく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>コロナ患者が増加している時期の救急不応需率についてはやむを得ない。</p> <p>市立総合医療センター開院後は川西救急からの不応需率がいずれの月も20%を下回っており、救急応需については評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>不応需の原因を精査し、応需率を高めるよう努めること。</p>

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
	4	小児医療が適切に提供できているか(患者受入数など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 4月当初、市立川西病院の小児科は、医師を4名体制で診療を行い、発達障害専門外来でも土曜日の予約診を実施した。</p> <p>② 9月から市立総合医療センターでは、非常勤医師を含む10名体制で診療を行ったが、市立川西病院における1日当たりの入院患者数は4.5人、市立総合医療センターでは4.6人と微増にとどまった。</p> <p>③ 小児コロナ入院患者の受け入れを行った。</p> <p>④ 川西市内中学2年生ピロリ菌検査事業へ協力した。</p> <p>⑤ 小児科医ホットライン(医師専用直通回線)を開設した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>令和5年4月より常勤医師が6名から7名となり、より診療体制が充実した。</p> <p>小児科医ホットライン(医師専用直通回線)を通じて、紹介患者の確保に努めていく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>発達障害専門外来など、近隣にない特色ある医療を提供している。また、阪神圏内でも対応できる病院が少ない、小児のコロナ患者を受入れている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>常勤医師数に見合う患者数を確保することができるように務めること。</p>
	5	周産期医療が適切に提供できているか(分娩件数など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 4月当初、市立川西病院の産婦人科は、常勤医師2名体制で診療を行い、9月からの市立総合医療センターでは、常勤医師4名体制で診療を行った。</p> <p>② 4月から8月の市立川西病院では月平均8.4件、9月以降の市立総合医療センターでは、月平均37.4件の分娩を行った結果、年間分娩件数は304件で、前年度より月平均13.5件の増加となった。</p> <p>③ 川西市と猪名川町が実施する産後ケア事業に参画し、生後6か月未満の乳児と産婦で、出産後に家族等の支援を得ることが難しい方に対して、乳児の健康管理や産後の生活に係るアドバイスをはじめとしたケアサービスを宿泊型と日帰り型で実施した。</p> <p>④ コロナ妊婦患者の入院受け入れを行い、綿密な感染対策を行い無事に10件の分娩に対応することが出来た。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>無痛分娩の安全な実施のほか、里帰り出産の案内やFAQのホームページ掲載など、市内唯一の分娩施設としての役割を果たし、分娩件数月50件の確保に努める。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>無痛分べん率が全国平均に比べて高く推移している。コロナに罹患した妊婦を受入れ、無事出産に至った。また、分べん時だけでなく、産前産後ケア事業にも注力しており、周産期に係る患者の不安や期待に応えている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>第二協立病院のARTセンター(生殖補助医療)とも連携して、分べん件数の増加に努めること。</p>
	6	適切ながん医療を提供できているか(化学療法患者の受入数など)	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>がん手術件数:76件(月平均10.9件)</p> <p>外来化学療法件数:570件(月平均81.4件)</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>診療科案内等広報紙を充実させ、開業医からの紹介患者の獲得に努める。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>外来化学療法件数が施設に見合う件数となっていない。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>開業医や近隣施設への周知を徹底すること。</p>
	7	適切な急性期脳卒中医療への対応ができているか(脳卒中患者の受入数など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 脳神経外科手術件数:95件(月平均13.6件)</p> <p>② 脳神経外科医ホットライン(医師専用直通回線)を開設した。</p> <p>③ 7階西病棟内にSCU(脳卒中集中治療室)施設基準を満たした3床を確保し、適切な急性期脳卒中診療を開始した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>脳神経外科医ホットライン(医師専用直通回線)を通じて、紹介患者の確保に努めていく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>ホットラインを開設することにより、治療までの時間短縮に寄与していると評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	8	心疾患に関する医療体制の充実を図っているか(心臓カテーテル手術件数など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 心カテ件数:219件(月平均31.3件)</p> <p>② 循環器内科医ホットライン(医師専用直通回線)を開設した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>循環器内科医ホットライン(医師専用直通回線)を通じて、紹介患者の確保に努めていく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>ホットラインを開設することにより、治療までの時間短縮に寄与していると評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
	9	糖尿病の診断、患者教育、糖尿病合併症の集学的治療を行えているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>糖尿病合併症管理料算定件数:29件(月平均4.1件) 糖尿病透析予防指導管理料算定件数:32件(月平均4.6件)</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>糖尿病患者会(川西さくら会)の運営を通じて、糖尿病についての正しい知識の普及啓発に努めていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>ニーズの多い糖尿病について、診断から教育入院、経過観察等集学的に治療できていることを評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	10	認知症を合併した患者への対応ができているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>大学医局より、週2回精神科専門医(非常勤)の派遣を受け、病棟コンサルタントとして認知症入院患者へ対応している。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>認知症ケア加算算定に向け、精神科常勤医及び認知症認定看護師確保に努めていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>病棟コンサルタントとして精神科医が在籍することにより、主治医の負担軽減に寄与していると評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>精神科常勤医の確保に努めること。</p>
	11	その他何か特色ある医療に取り組んでいるか	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>第二協立病院にARTセンター(生殖補助医療)が開設されることに合わせ、当センター産婦人科・泌尿器科での不妊診療体制を整備した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>令和5年度より、男性も女性も、不妊について気軽に相談できる赤ちゃん希望相談(無料)を開設する。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>第二協立病院のARTセンターは不妊治療という時代のニーズにあった医療を提供できており、その窓口として機能している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>引き続き、ARTセンターとの連携に努めること。</p>
	12	地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの構成員として、地域における医療機関相互間の機能分担、連携を進めるなど、その役割が果たしているか	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 患者支援センターが中心となり、川西・猪名川地域における回復期及び慢性期等の医療機関と密に情報交換を行うなど、積極的に患者の転院調整を行っている。</p> <p>② 令和4年12月より脳卒中地域連携パスの事務局を担っている。</p> <p>③ 大腿骨頸部・椎体骨折地域連携パス稼働に向けて体制整備のため、地域医療機関へ説明会等を開催した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>脳卒中地域連携パス及び大腿骨頸部・椎体骨折地域連携パスの本格稼働に向け、施設基準の取得と医療機関間の連携強化を推し進める。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの中心的な役割を担う医療機関として、地域医療の向上に努めている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	13	市の事業において公立病院の協力を必要とする場合は、可能な限り協力しているか	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 川西市内中学2年生ピロリ菌検査事業への協力。</p> <p>② 川西市乳幼児健康診査(3歳児眼科検診)への視能訓練士の派遣を行った。</p> <p>③ 市からの依頼を受け、市の安全衛生管理を行うための産業医の派遣を行った。</p> <p>④ 新型コロナウイルスワクチンの集団予防接種に予診を行う医師の派遣を行った。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き市の事業に対し、公立病院としての役割を果たしていく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>コロナ禍においても、産業医の派遣や感染対策研修など多方面で協力しており、ワクチン接種などの事業にも大いに尽力してくれている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	14	市民等を対象とした地域医療に対する啓発活動への取組み・医療相談・通院支援・市民講座などが適切に行われているか	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市立総合医療センターにPSC(患者支援センター)を設置し、各種相談体制の充実を図り、回復期、慢性期医療機関及び在宅医との連携強化を図った。</p> <p>② PSCの機能により、紹介数は、前年度の7,054件から10,429件に、逆紹介数は7,415件から10,352件に増加した。</p> <p>③ PSCにおいて、入院時から退院後を見据えた退院先の調整を行うなど、医療相談等を通じて適切に患者支援を行った。</p> <p>④ 第1回市民医療講演会をアステホールにて開催した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>① 各種相談体制のさらなる充実を図り、回復期、慢性期医療機関及び在宅医との連携強化を図る。</p> <p>② 市民医療講演会をアステホール等大規模会場にて年2回開催する。また小規模出前講座も積極的に対応していく。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>紹介率75.8%、逆紹介率69.1%で、地域医療支援病院の要件を満たしており、PSCが中心となって地域医療との連携ができている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>コロナ感染症が5類へ移行したことから、出前講座等地域へ出向いてPRを行うこと。</p>

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
	15	来院した患者が円滑に診察を受けられるよう、患者支援センター(PSC)は機能できているか	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市立総合医療センターでは、外来患者に対し、医事課職員だけでなく、コンシェルジュを配置し、丁寧な案内を行うとともに、診察の待合にデジタルサイネージを活用したほか、分かりやすい施設内の表示に努めた。</p> <p>② 入院患者に対しては、PSCにおいて、事前に入院時のオリエンテーションを行うなど、薬剤師や管理栄養士への相談も随時実施した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>外来患者の動線や施設内の問い合わせの分析などを行い、効果的な施設内表示を加えるなど、改善を図る。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>紹介患者の受付を一般の患者と分けて案内し混雑回避に努めるなど、PSCにより患者動線が機能的になっていると評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	16	医療法をはじめとする関係法令などを遵守し、患者中心の医療の提供に努めているか(関連研修の実施など)	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>関係法令等を遵守し、インフォームド・コンセント(説明と同意)を徹底するなど、患者中心の医療を提供した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>病院機能評価を更新するため、急性期医療を中心に地域医療を支える基幹病院を対象とした一般病院2機能種別版評価「3rdG:Ver.3.0」の認定を受け、安全で安心な医療の提供と質の向上を図る。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>適切に行っている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>市民モニター会議でも指摘を受けた通り、病院機能評価の受審を通して、患者サービスの改善につながるようなPDCAサイクルの体制について構築すること。</p>
	17	治療に関する説明などが、利用者に分かりやすい内容に改善できているか(同意書などの様式の見直しなど)	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>利用者に対する説明については、同意書の様式で適切に行ったほか、治療や検査に関する説明資料は平易な表現で分かりやすいように工夫しており、支障は生じなかった。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、適切に行っていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>治療方法や検査内容の説明が不十分で、苦情が寄せられたケースがあった。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>適宜検査結果などを交え、治療方法については丁寧な説明を心がけること。</p>
	18	患者の待ち時間短縮に努めているか(受付、診療、検査、会計など)	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① ポケメド(モバイル診察券)、診療費後払いシステムを導入したが、認知度を上げるに至らなかった。</p> <p>② 年末に内線電話機の台数を追加した事で、事務会計担当者と各現場とのコストに関する問い合わせがスムーズに行えるようになった。</p> <p>③ 事務会計担当者の増員により適正人員を確保した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>ホームページを活用し、来院者への事前周知に努め、上記システムの普及に努める。</p>	2	<p>【市の評価】</p> <p>待ち時間については苦情の割合が多く、患者サービス向上にも大きく寄与するため、早期に改善が必要である。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>待ち時間が発生するのは一定やむを得ないが、待ち時間が発生している原因を明確にし、患者へなぜ診察時間が遅れているのかを適宜説明すること。</p>
	19	患者・家族の意見を聞き、接遇などの改善に活用しているか また苦情等に適切に対応しているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市立総合医療センターでは、毎朝、病院長連絡会議を開催し、患者の意見等で重要なものは情報共有を図った。</p> <p>② センター内には、「患者さま意見箱」や「ふれあいの箱」といったものを設置するとともに、その回答を掲示し、職員の接遇をはじめとした苦情案件の改善に努めた。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、適切に行っていく。</p>	2	<p>【市の評価】</p> <p>意見箱の設置はできているが、意見に対する回答が滞っていた。開院後から徐々に苦情は減少しているが、同内容の苦情が現在も続くなど、今後も改善が必要である。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>接遇研修を実施すること。また、JCBカードを使用できるようにするなど、利用者からの意見で改善できた部分について公表する等のアピールに努めること。</p>
	20	点字ブロックや窓口インターホンなどのバリアフリー設備を適切に運用し、障がいの内容に沿って声かけや案内をするなど、医療機関における障がい者への合理的配慮ができているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 現行の設備を活用し、患者が利用しやすい備品配置等を心掛けた。</p> <p>② 正面玄関に案内職員を配置し、車イス等で来院された患者さんの案内誘導を行った。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、適切に行っていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>市立総合医療センター設計段階から障がい者団体の意見を取り入れて建設している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>ソフト面について、引き続き配慮等に努めること。</p>

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
2.職員に関する基本的要件	21	仕様書で定めた診療科・センターの機能を維持するために必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保はできているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市立総合医療センターの開設に合わせ、診療科を18科から28科に増加するとともに、常勤医師72名と常勤看護職366名、全職種を合わせ、約800名の職員配置体制で医療の提供を行った。</p> <p>② 年度末時点で、常勤医師は3名増の75名、常勤看護職は12名減の354名。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>医師については、引き続き大学医局に派遣の協力を求めるとともに、看護師については、就職希望者の施設見学や途中採用の面談に常時対応するなど、積極的な人材確保に努めていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>医療法人(指定管理者)内の人材を活用しながら、職員数は適宜調整しており、必要なスタッフの確保はできている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>職員数については最低限確保できているが、より充実した医療サービスを提供するためにも、引き続き職員の確保に努めること。</p>
	22	7対1の看護配置を維持できるよう看護師の負担軽減に取り組んでいるか(病棟医療クラークや看護補助者の拡充など)	4	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>介護福祉士養成機関と連携し、看護補助者(看護助手・介護福祉士等)の確保に努めた。医療センター開院時の常勤看護補助者60名を確保した結果、看護師の軽減負担に繋がった。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き看護補助者確保に努める。</p>	4	<p>【市の評価】</p> <p>看護補助者を多く採用し、看護師の負担軽減に取り組んでいる。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	23	医療情報技術や地域医療など、各分野に精通した職員の育成ができているか また研修や自己研鑽のための制度が整備できているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 市直営時から行っている院内研修に加え、法人教育委員会主催の研修制度に参加できる仕組みとした。</p> <p>② 医療法人(指定管理者)が導入している目標管理及び人事評価制度を全職種に活用した。</p> <p>③ 年度当初の目標設定から年度末の評価に至るまでの職員面談をしっかりと行い、職員のモチベーション向上に繋がった。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>目標管理制度の適正な運用に努め、職員のモチベーション向上に努める。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>法人教育委員会主催の研修や、目標管理及び人事評価制度を全職種に活用するなど、職員のモチベーション向上に努めている。</p> <p>また、研修目的の法人内病院間の人事異動も活発に行われていることは評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
	24	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組んでいるか また長時間労働の是正や非正規雇用の処遇改善、子育て支援など働き方改革に取り組んでいるか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① タイムカードによる勤怠管理システムを導入し、勤務時間の明確化を図り、効率的に業務を行うことを意識し、時間外勤務の縮小に繋がった。</p> <p>② 3年度に導入した、子どもが小学4年生になるまでの時短勤務など、子育て支援制度を推進した。</p> <p>③ 3年度に導入した、限定付き正職員制度(夜勤・当直、土日祝勤務、人事異動の免除)を活用し、働き方改革を推進した。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、職員が安心して働き続けることができるよう、制度を利用しやすい職場環境づくりに努めるとともに、育児休業を取得しやすい雇用環境の整備のため職員向けの相談業務を実施する。</p>	2	<p>【市の評価】</p> <p>市立総合医療センター開院前後は一定やむを得ないが、現在も一部の職員について長時間労働が散見される。</p> <p>一方で、様々な制度を導入することにより、職員の働き方の選択肢を増やしていることは評価している。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>引き続き職場環境づくりに努めること。また、医師の働き方改革に適切に対応すること。</p>
	25	職員の福利厚生向上に努めているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>① 看護師や研修医については、市立総合医療センター近隣の住宅を借り上げ、希望者は割安で入居できるよう手配した。</p> <p>② 院内保育園の廃止に伴い、法人関連保育園に園児とともに職員も転籍させた。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、保育園について、希望する職員がキセラ地区にある法人関連保育園の利用が出来るよう調整を行う。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>看護師寮や院内保育園などの運営は、市の都合で前倒して終了となったが、指定管理者が別施設を用意するなど、臨機応変に対応している。また、その他にも駐車場の確保など、職員の福利厚生向上に努めている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>
3.建物・設備・備品等管理	26	施設及び設備の日常点検、保守及び法定点検の保守管理業務を行っているか	3	<p>【令和4年度の実績について】</p> <p>適切に行った。</p> <p>【令和5年度に向けて】</p> <p>引き続き、適切に行っていく。</p>	3	<p>【市の評価】</p> <p>適切に行っている。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p>

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
	27	備品や医療機器は台帳を用いて適切に管理できているか また備品や医療機器の廃棄などの取扱いについては、市に報告しているか(指定管理者が購入したものは除く)	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	28	入院・外来患者及びその他の来院者の利便性向上のため、売店その他の施設、設備を設置運営しているか また第三者に設置運営させる場合は、基本協定書第13条(再委託の禁止)の手続きに準じ、市の承認を受けているか	3	【令和4年度の実績について】 ① 市立総合医療センターでは、来院者のためにカフェを誘致するとともに、入院に必要な物品の販売を委託した。 ② 上述の委託については、基本協定に則り、市の承認を得ている。 【令和5年度に向けて】 市立総合医療センター開設後7カ月が経過し、利用者からの意見なども参考にし、施設や設備の充実を図る。	2	【市の評価】 売店の品揃えの拡充など、利用者からの意見が多く、十分とは言えない。 【指定管理者に対する意見】 売店の品揃えの拡充や自販機を設置するなど、早急に充実を図るよう努めること。
	29	来院者が安全に利用できるよう、駐車場に警備員や誘導員を適切に配置し、来院者の安全確保及び誘導ができていないか また駐車場や送迎バスなどの案内を適切に行っているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	30	良好な衛生環境を保つために、日常清掃、定期清掃、及び使用頻度等に応じて特別な清掃を適切に行っているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	31	病院運営に係る廃棄物(ゴミ)、医療行為に関係して排出される医療廃棄物が適切に処分されているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】 廃棄物の回収時刻は、近隣住宅への影響も考慮すること。
	32	植栽の管理を適切に行い、病院の景観を良好に保っているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】 西側入口看板前について適宜剪定を行うこと。
4.情報管理	33	情報の機密性、完全性、可用性を確保し、維持しているか また情報管理に関する方針を明確にし、患者の個人情報・プライバシーを適切に保護しているか(研修の実施など)	3	【令和4年度の実績について】 ① 個人情報保護方針を制定し、個人情報の取り扱いについて掲示板を活用するなど患者への周知に努めた。 ② 情報セキュリティに関する基本規程や院外からの問い合わせに関する規程を制定した。 ③ ネットワーク委員会を設置し、情報管理に関する課題等に対応した。 【令和5年度に向けて】 ① 情報管理に関する研修を開催する。 ② サイバーセキュリティについて、これまでにサイバー攻撃を受けた医療機関の事例を参考に、セキュリティ対策に取り組む。	3	【市の評価】 電子カルテの情報管理については、職種ごとに閲覧情報の制限の設定を行い、運用は適切である。 【指定管理者に対する意見】 情報管理に関する研修を行うこと。また、外部からの電子カルテシステムへのウイルス攻撃に備えること。
	34	市立総合医療センターの管理運営に係る収入及び収支の状況について、適切に帳簿に記載し証拠書類を保存しているか また本業務に係る文書を適切に管理し、指定期間終了後には、本業務に係る文書を市又は市が指定する者に引き継ぐことができる状態か	3	【令和4年度の実績について】 文書管理を適切に行い、引き継ぎにも対応できる状態である。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】 帳簿や証拠書類の整理整頓に努めること。

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
	35	市立総合医療センターの利用に係る料金は、病院使用条例に定める範囲内において、指定管理者の収入として適切に収受されているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】 病院使用条例外の料金についても、大きな変更を行う場合は市と事前に協議をすること。
5.危機管理	36	川西市地域防災計画、川西市水防計画、川西市国民保護計画、新型インフルエンザ対策等における病院の役割を担っているか	3	【令和4年度の実績について】 ① 市立病院として、有事の際の患者受入れ等の役割を担った。 ② 川西市危機管理課が所管している避難所設置マニュアルの作成に協力した。 ③ 川西市消防本部と新型コロナウイルス感染症患者の自宅待機者の受診受入れ等について、協議を行った。 【令和5年度に向けて】 川西市地域防災計画等について、現病院から新病院への移転に伴い、市担当部局と協議を進め、新病院における役割の整理、見直しを行う。	3	【市の評価】 市立病院として、コロナ禍においても医療水準を落とすことなく、患者の受入れができています。 また、コロナ禍における避難場所設置についてのマニュアル作成に協力するなど、様々なことに尽力している。 【指定管理者に対する意見】 計画の改定に向けて、市の担当者と協議を行うこと。
	37	新興感染症等について県から感染者の受け入れ要請等があった場合は、公立病院として速やかに適切な医療を提供できる体制を整備できているか	4	【令和4年度の実績について】 ① 兵庫県より重点医療機関の指定を受け、コロナ患者専用病床を2病棟(85床)確保し、コロナ患者(中等症・小児・妊婦・透析)を積極的に受け入れた。 ② 川西市消防本部と新型コロナウイルス感染症患者の自宅待機者の受診受入れ等について、協議を行った。 【令和5年度に向けて】 ① 引き続き市の事業に対し、公立病院としての役割を果たしていく。 ② 改正感染症法(R6.4.1施行)への対応準備を進める。	4	【市の評価】 コロナ患者の受け入れを積極的に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	38	医療安全確保に向けた体制が確立しているか(ヒヤリハットレポート報告件数、医療事故報告件数など)	4	【令和4年度の実績について】 ① 専従の医療安全管理者を配置し、例月医療安全管理委員会を開催し、報告事例の共有と対応の協議などを行った。 ② 診療の現場から報告されるヒヤリハット(誤った医療行為などが患者に実施されるまでに発見された事例など)について、現場検証を実施し、部門間の調整を行い、業務の改善を図った。 ③ 市立総合医療センターインシデント報告件数は月平均188件。 ④ 全職員を対象にe-ラーニング(医療安全・感染対策)を活用し研修を実施した。 ⑤ 職員及び来院者へ標準予防策の周知徹底に加え、面会制限(オンライン面会の導入)を講じるなど院内感染対策を強化した。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	4	【市の評価】 職員、患者、来院者に対して、標準予防策が徹底されている。 また、コロナに職員が罹患しても、濃厚接触者が発生しないように、日頃から密の回避や室内換気の徹底、責任者の院内ラウンドによる指導など、感染管理を徹底している。 その他、院内感染対策として、オンライン面会などを意欲的に取り入れた点も評価している。 【指定管理者に対する意見】 ヒヤリハットの内容は、現場の職員1人1人にいたるまで、周知させること。
6.報告・届出	39	施設基準や各種認定・指定など、適切に管理できているか また市へは提出一週間前の報告を順守しているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	2	【市の評価】 資料の提出について、一部遅れがあった。 【指定管理者に対する意見】 例月モニタリング資料など、資料の提出期限を厳守すること。また、責任者や担当者を明確にすること。

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
7.情報発信	40	病院運営に関して地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、必要な情報を地域等へわかりやすく発信しているか(ホームページのアクセス数、広報紙の発刊数など)	3	【令和4年度の実績について】 ① 市立総合医療センター開設後のホームページの閲覧件数は、月平均32,129件で前年度の55,248件を下回った。 ② 市立総合医療センターの主催による第1回市民医療講演会を開催し、総長が「川西市立総合医療センターの心意気」と題して講演を行った。 ③ 市広報誌(みらいふ)にて市立総合医療センターPR記事を掲載した。 【令和5年度に向けて】 ① ホームページは、定期的な更新を行うとともに、閲覧の分析なども実施し、内容の充実を図る。また、市民向けの講演会等については、年2回の開催を目指す。 ② 地域医療機関を対象に広報紙(患者支援センターだより)を年4回発行する。	2	【市の評価】 市立総合医療センター開院当初、ホームページについての苦情が多かった。市広報誌などに積極的に記事を掲載し、情報を発信していることは評価している。 【指定管理者に対する意見】 ホームページを適宜更新すること。また地域コミュニティなども活用し、様々な手段で情報発信に努めること。
	41	掲示板などを用いて、診療科や担当医師の一覧等、患者にとって必要な情報を適切にアナウンスできているか	3	【令和4年度の実績について】 適切に行った。 【令和5年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	2	【市の評価】 掲示板等のアナウンス方法について、苦情が寄せられたケースがあった。 【指定管理者に対する意見】 掲示板は定期的に点検し、随時更新を行うこと。また、必要に応じて掲示板等の増設を検討すること。
合計点数			138点 /164点		131点 /164点	

評点の基本的考え方	点数
優れている	4点
できている	3点
概ねできている	2点
改善が必要である	1点
該当項目なし	採点対象外